

燕市議会では毎年、各常任委員会が市内視察と行政視察研修を行っています。
今号は市内視察のレポートをお届けします。

見聞

視察レポート

総務文教常任委員会 (5/22)

視察先…吉田小学校、吉田総合体育館、分水小学校、文化会館、燕庁舎、保健センター跡地、燕保育園

新築された吉田小学校屋内運動場を視察しました。今春の卒業・入学式もここで行われました。また、防災の日の訓練では、近隣町内の避難先となっている耐震改修を終えた吉田総合体育館を視察しました。

燕文化会館で設備改修をされたステージ照明の変化に驚かされました。その後、水道局が6月移転予定の旧燕市役所庁舎へ移動し、リニューアルされた建物を確認しました。今後一層の活用を期待します。



文化会館のステージ照明

市民厚生常任委員会 (5/11)

視察先…地域生活支援施設つどい、特別養護老人ホーム(太陽の園)、市民交流センター「おでかけきららん号予約センター」、トム・ソーヤ「KISSA つばめや」、燕庁舎

おでかけきららん号予約センター(6月市民交流センター移転)では、運行が開始して多くの市民の皆さんから利用されています。

今年の7月より弥彦村内も運行を開始し、オペレーターを増員して対応しています。今後の課題としては、午前中に予約が集中して取れないことがあるため、予約時間を変えて利用することと、13時台または土日の運行を今後どのように対応していくかが、高齢者の活動人口に大きく関わってきます。



おでかけきららん号予約センター

産業建設常任委員会 (5/14)

視察先…吉田95号線道路整備現場、花見地区ほ場整備現場、国道289号燕北バイパス、高速バス乗り場駐車場、須頃郷排水対策現場、仮称朝日大橋橋脚、メッセピア、五千石野中才線道路改良事業現場

吉田95号線道路整備事業では、今年度に通開予定の現場を歩きました。また、国道289号燕北バイパスも現地を歩き、進捗状況を聞きました。高速バス乗り場駐車場では、申請された車が駐車されていることを確認し、須頃郷排水対策事業はイオン近くの現場に立ち、係員より説明を受けました。仮称朝日大橋橋脚現場も視察しました。

燕三条地場産業振興センター、メッセピアではリニューアルとなった地場産品売り場を見学しました。



道路下の調整池内を見学

前議員を含めて5人が表彰されました

全国市議会議長会、及び北信越市議会議長会から表彰されました。



議員在職40年
本多了一 前議員



議員在職20年
大岩 勉 議員



議員在職10年
丸山吉朗 議員



議員在職10年
山崎雅男 議員



議員在職10年
中山真二 議員

奥州市議会 来燕

「特色ある『ノートブック』 に興味を持って」

5月21日(木)、岩手県奥州市議会「議会広報編集委員会」の皆さん9名が視察に来られ、市民に、より伝える議会だよりづくりについて交流しました。

奥州市の市議会だよりは燕市議会と同じで表裏カラーでその他は2色ですが「文字数が多く写真が少ない」現状をどう変えるかを課題としています。

市民が登場する「私もひとこと」欄では、市政運営や議会にもかかる生活課題の意見がストレートに掲載されるなど、燕市の「ノートブック」も刺激を受ける内容です。

翌日には湯沢町の議会だよりについても学んでいきました。



藤田慶則 委員長

私たちも議会広報づくりにおいて「手に取りやすく、読みやすく、わかりやすい紙面づくり」を心がけています。

燕市の特色ある「ノートブック」に興味があって今回伺いました。

文字数が少なく読みやすいのがいいですし、「市民の声」を議員が直接取材に行って作っているのが素晴らしいです。また、ツバメの使い方がすごくいいですね。いいところはさっそく参考にしたいです。

岩手県奥州市ミニ情報

2006年2月に水沢市、江刺市など2市2町1村が合併。県の南に位置し、人口は約12万人、面積は約993平方キロメートルでいずれも県内3番目。南部鉄器、江刺牛、江刺りんごなどが有名。



請願の審査結果

■ 30人学級の実現を求める請願

全会一致
採択

請願理由(要旨)

1. OECD諸国並みの教育環境を整備するため30人以下の少人数学級とすること。
2. 教育の機会均等、水準の維持・向上を図るため義務教育費の国庫負担割合を2分の1に還元すること。

※採択された請願は、総理大臣はじめ関係大臣に燕市議会の意見書として送付しました。

請願者
新潟県教職員組合県央支部
執行委員長 池田繁人
燕班班長 平原美恵子

■ 農協改革をはじめとした「農業改革」に関する請願

賛成少数
不採択

請願者
農民運動新潟県連合会
新潟県農協労働組合連合会
代表者 弦巻純一 岡崎敦

付託された総務文教常任委員会の意見

本来、農協は生産農家のためのものであるべきだが、現状は異なっており、政府の改革も100%とは言えないが、いろいろな視点から議論をし、プラス思考でいくべきであるから、改革の阻止を訴える本請願に反対するものである。

見て、聞いて、 学んで、 実践!

議会報等特別委員会 研修報告

埼玉県鴻巣市
(株)会議録センター 5月18日(月)~20日(水)

市民の皆さんに見やすくわかりやすい紙面づくりを学ぶため、研修を受けました。
広報づくりの基本と編集について、18時過ぎまで頑張りました。2日目はA班・B班に分かれて、同一の題材を使って紙面づくりに挑戦しました。



研修を真剣に受けています



ワークショップでは、公園の再整備について、市民からの要望のあったことを題材として、A班・B班に分かれて編集しました。



広報づくりの基本と編集について、芳野先生から講義を受けています



使用する素材や配置を、みんなで検討しています(A班)



撮影した写真の中から、素材としてどれが一番適しているかを検討しています(B班)



一言一句にまでこだわり、原稿を書きました

A班



“わかりやすさ”にポイントを置いて作成しました

B班

それぞれの班の紙面が完成したものです。つくる観点でこんなに違っていますが、どちらの班も市民の方から見やすく読んでもらえるように工夫をしてくれました。

マナンドコトヲ・イカシテイキマス

議会情報公開の今後のあり方

タブレットをいち早く導入した神奈川県逗子市では、年間約1,000万円程度の経費を節減することができたとの説明がありました。紙資源を有効に使うためにも、今後はペーパーレス議会を進めていく必要性を感じてきました。



タブレットを手に取っての研修